

地球博だより



2005年3月25日から愛知県で開催



開幕までいよいよあと2年 愛・地球博の中身が見えてきました

曾野綾子氏が博覧会協会 特別顧問に就任

3月24日、「第19回理事会・評議員会」が名古屋市内で開催され、作家で日本財団会長の曾野綾子さんが(財)2005年日本国際博覧会協会の特別顧問(非常勤)に正式に就任しました。今後は、文化的、国際的な社会貢献の観点等から、博覧会事業の推進等について指導、助言をいただきます。



曾野綾子(そのあやこ)氏
1931年9月、東京生まれ。聖心女子大学卒。幼少時よりカトリック教育を受ける。
1953年、作家 三浦 朱門氏と結婚。小説『神の汚れた手』、『極北の光』、『天上の青』など、エッセイ『誰のために愛するか』、『いい人』をやめると楽になる敬友録』など、著書多数。
一方、各種審議会委員や海外法人宣教師活動援助後援会の代表として世界に視野を広げた精力的な社会活動でも注目を浴びている。
1995年から日本財団会長を務める。



今年の3月25日で開幕2年前を迎えた愛・地球博。いよいよ協会企画事業の中身が明らかになってきました。センターゾーンで緑り広げられる「グローバル・ハウス」、「こいの池ナイトイベント」、「愛・地球広場」の他、「地球市民村」、「市民交流プラザ&交流広場」、「食と遊びの事業」、「コンベンションホール」など、楽しさ溢れる事業が目白押し。この他、政府や愛知県、名古屋市をはじめ、一部の民間パビリオンも発表が始まっており、愛・地球博の全体像が見えてきました(2~6面参照)。
また、開幕2年前に合わせ、地元及び全国において記念事業が開かれ、開催気運を盛り上げました。



EXPO
2005 AICHI
JAPAN

名称 正式名称:2005年日本国際博覧会
略称:愛知万博
愛称:愛・地球博

テーマ 自然の叡智

サブテーマ 1.宇宙、生命と情報
2.人生の「わざ」と智慧
3.循環型社会

開催期間 2005年3月25日~9月25日(185日間)

会場 愛知県瀬戸市の南東部、長久手町の愛知青少年公園及び豊田市の科学技術交流センター予定地の約173ha



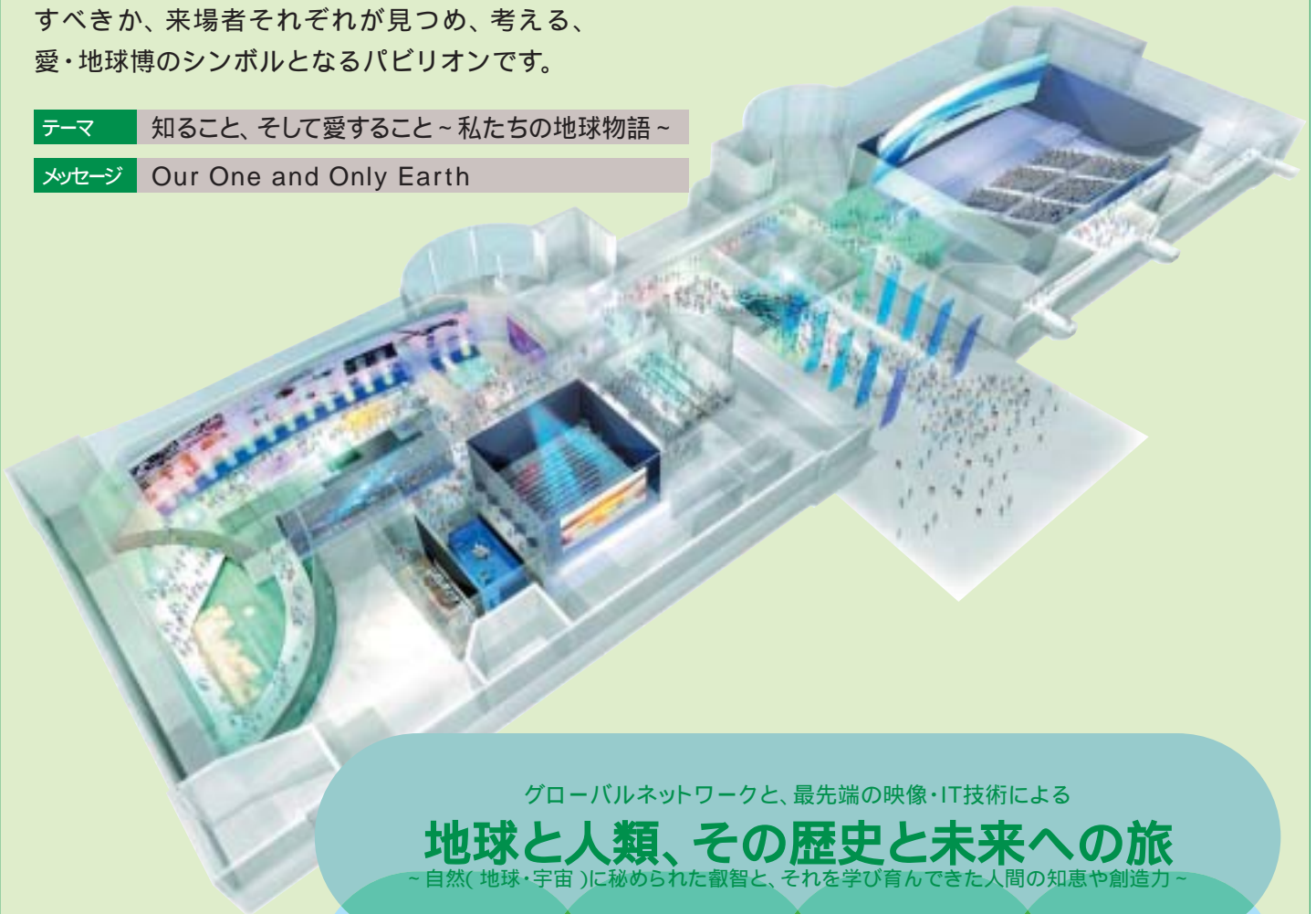
宇宙の誕生から今日の地球までの壮大なドラマを展開し、地球・生命・人間・文化・技術に関わる時代のエポックを浮かびあがらせます。そして、未来へ残していきたい素晴らしい地球と生命の姿を映し出して、私たちの唯一の地球のために何をすべきか、来場者それぞれが見つめ、考える、愛・地球博のシンボルとなるパビリオンです。

テーマ 知ること、そして愛すること～私たちの地球物語～

メッセージ Our One and Only Earth

グローバル・ハウス

私たちがより地球を知り、地球を愛するためのシンボルパビリオン



グローバルネットワークと、最先端の映像・IT技術による

地球と人類、その歴史と未来への旅

～自然(地球・宇宙)に秘められた叡智と、それを学び育んできた人間の知恵や創造力～

世界最大の
超ワイド
シームレススクリーン

世界初の
超高精細映像システム

世界の博物館・
美術館などの
目玉展示品が集結

主催者・メディア企業の
共創による人類の未来への
メッセージ発信

コンベンションホール

愛・地球博のテーマ、サブテーマを
みなさんの創意で具現化

期間限定型のプログラムが次々と展開されるタイムシェアード型パビリオンで、他のパビリオンにはない、独自の切り口を持つ魅力的なプログラム編成により、愛・地球博のテーマ、サブテーマを様々な視点から多面的に展開していきます。



現在、コンベンションホールでは、既に予定されているプログラムの他に、「一般プログラム」を公募しています。詳しくは博覧会協会ホームページをご覧ください。

(URL: <http://www.expo2005.or.jp>)

こいの池-ナイトイベント「こいの池のイヴニング」 ~ In The Evening at KOI POND ~ (仮称)

「自然の叡智」に学び、21世紀の新しい文明のつくりだす知恵について多くの人々が感じ、考え、そして美しい未来の夢を見る時間と場を演出します。溜池である「こいの池」をステージとしながら、イメージははるか遠くに広がり、自然と人間のかかわりを体感する様々な場面が、全ての人を魅了するインパクトと美しさで繰り広げられ、豊かな未来への期待感をメッセージします。



演出家 **ロバート・ウィルソン** (Robert Wilson)
「実験演劇界にそびえ立つ塔のような存在 (ニューヨーク・タイムズ)」、米国テキサス州、ワコー生まれ。その作品は、あらゆる舞台芸術からアート作品まで多岐にわたる芸術分野で世界中の観客と評論家から高い評価を博す。ヴェネツィア・ビエンナーレ彫刻部門金獅子賞、アメリカ芸術文化アカデミー・メンバーシップ('00)など贈られた賞や栄誉は枚挙に暇がない。ロバート・ウィルソンは、20世紀から21世紀にかけての世界の芸術文化界のリーダーといわれる。

Portrait of Robert Wilson / ロバート・ウィルソン Photo by Tilde De Tullio

ロバート・ウィルソン氏の主な作品



Einstein on the Beach / 海辺のアインシュタイン
Photo by Fulvio Roiter



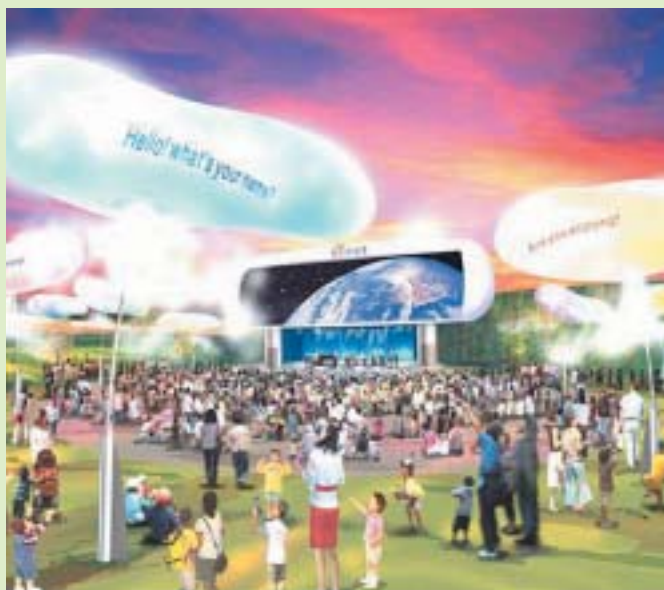
Madame Butterfly / 蝶々夫人
Photo by Kleinfenn



mystre / ミストル
Photo courtesy of Byrd Hoffman Water Mill Foundation

愛・地球広場

ともだちになろう!
地球と一緒に手をつなごう!



グローバル・ネットワークと最先端の映像IT技術によって、世界中の国、国際機関、NPO / NGO、地球市民が「世代や国境を超えて繋いでいきたいもの」を様々なサブテーマのもとに表現するシステムを創ります。広場の大型映像装置や催事、多様なメディアコンテンツ上への参加やインタラクティブを通じて、地球と人類の未来のために繋がる「自分の中にある可能性」を「勇気や元気、感動や共感」に置き換えて感じ取ります。

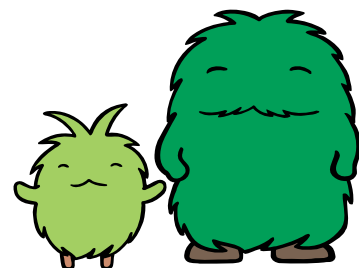
食と遊びの事業

子供たちと親たちに、
心に残る思い出をプレゼント

テーマ 生きる智恵・生きる力~元気、再発見!

メッセージ Power of Life

「食」と「遊び」をモチーフにした体験・交流のプログラムを通じて、来場した子供たちと親たちが21世紀の生き方とその智恵・力のヒントを発見し、感動を体験できるパビリオンです。



地球市民村

21世紀の主演NPO/NGOが世界から集う

世界から集まるNPO/NGOによる、地球の今を体験する楽しい学びの場です。地球の記憶と夢といのちを掘り起こし、みんなで持続可能な未来を紡ぎ出しましょう。

計画コンセプト

愛・地球博が開幕する2005年からは、2002年に日本が提案し、国連総会で採択された、「国連持続可能な開発のための教育の10年」が始まります。そこで地球市民村は、この流れに呼応し、環境や国際協力を中心とした「持続可能性への学び」(Learning for Sustainability)をコンセプトとして、地球と子どもの未来を考える楽習の場を創ります。



アドバイザー・プロデューサー

木幡和枝(こばたかずえ)氏

アート・プロデューサー。東京芸術大学先端芸術表現科教授、P.S.1現代美術センター(ニューヨーク 東京代表。おもな翻訳書に、ライアル・ワトソン『生命潮流』共訳、工作舎)ライアル・ワトソン『風の博物誌』(河出文庫)セオドア・ローザック『地球が語る「宇宙・人間・自然」論』(ダイヤモンド社)などがある。

市民交流プラザ&交流広場

国際博覧会史上初、市民参加による地球的課題解決プロジェクト

「集まれ! 人間力」-- 市民自らによる企画・運営を行う「市民プロジェクト」が、いよいよ動き出しました。地球上における「かけがえのないもの」を市民の手で守るために、テーマを5つ(いのち 隣人 環境 とし 美しさ)掲げ、これらのテーマにおける具体的な課題を応募いただいた市民(約360人)で決定していくプロジェクト会議を、新年度から開始します。取り組む課題が決定する本年夏ごろには、新たに全国・海外までを視野に入れた第2次公募を行います。詳しくは、ホームページ(<http://www.expo-people.jp>)をご覧ください。

[コーディネーター]

小川 巧記氏
時代のエンジンであるみなさんをサポートします。



[ファシリテーター] 専門分野からアドバイスします。

- 赤池 学氏 ~ 市民と先端科学技術を結ぶ (ユニバーサルデザイン総合研究所長・科学技術ジャーナリスト)
- 加藤 敏春氏 ~ 市民と社会革新・ブロードバンドを結ぶ (国際大学グローバル・コミュニケーション・センター教授 エコマネー提唱者)
- 谷岡 郁子氏 ~ 市民的知恵と大学・大学生を結ぶ (中京女子大学学長・元愛知万博検討会議委員長)
- 松井 正澄氏 ~ 市民とムーブメントの場を結ぶ (アトリエトド・建築家)
- モンテ・カセム氏 ~ 市民と国際機関・団体・NGO・NPO・各国研究機関を結ぶ (立命館大学国際教育・研究推進機構長・政策科学部教授、元国連地域開発センター主任研究員)



赤池学氏



加藤敏春氏



谷岡郁子氏



松井正澄氏



モンテ・カセム氏

ボランティアセンター設立

昨年12月10日、「愛・地球博ボランティアセンター」が設立され、センター会長に南山大学学長のハンス ユーゲン・マルクス氏が就任しました。ボランティアセンターでは今後、ボランティアの実施計画の作成、募集・登録、研修、運営など、愛・地球博のボランティアに関する統括を行っていきます。また現在、ボランティアセンタ

ーを支援する個人や団体をサポーターとして募集しています。

詳しくはボランティアセンターホームページ(<http://www.vol-expo2005.jp>)をご覧ください。





青少年公園地区



青少年公園地区政府館
「日本の経験、20世紀の豊かさから21世紀の豊かさへ」をテーマとして、21世紀の諸課題を克服していくため、未来に向けて最先端の科学技術の活用や新たな生活様式、社会システムなどを提案します。また、会期前～会期中～後にかけ、「人の交流、知恵の交流」をテーマにサイバーパビリオンを展開します。



愛知・広域交流館
青少年公園地区県パビリオン
「環業革命への力～環境問題解決の新産業設計図～」をテーマに、環境を中心とした新たな産業構造を築くために、21世紀においてどのようなモノづくり産業をおこすべきかを提案します。
中部広域交流館
「1000年の冒険 中部の発見と創造 ～千年持続社会をかんがえる～」をテーマに、「モノづくり」という中部圏域の魅力の世界に向けて発信するとともに、中部9県が一つの地域として、1000年後も通用する「資源」「技術」「ライフスタイル」を提案します。



名古屋市パビリオン
光・風・水が生み出す偶然のパフォーマンスアートを自然のままに感じる。
高さ約40mのタワーに入り見上げると巨大な光の球が美しく変化を続ける、そこは万華鏡の中...
外へ出るとタワーの壁を様々な表情を見せる水が流れ、周りの造形は風を受けて歌い出す。名古屋発「地球ライブ」これがコンセプトです。

政府、愛知県、名古屋市のパビリオン展示エリア

日本・愛知・名古屋の魅力を、それぞれの特性を生かした展示形式・内容で、来場者に向けて発信していきます。

海上地区



海上地区政府館
「自然と生きる日本人の『知恵・技・こころ』」をテーマに、科学や技術のみでは解決することが出来ない21世紀の諸課題に対し、その解決の糸口を提示するとともに、新たな自然との共生のあり方、生活の豊かさを創り出すことが可能であることを示します。



海上地区県パビリオン
「森の鼓動と呼吸～かつてない自然発見の場～」を展開テーマに、小さな森すらも持つ不思議な力や人と自然の深いかわりを体験し、また、自然との共生をめざす県民の活動を紹介します。

民間パビリオン

3月7日現在

(社) 日本ガス協会

テーマ ゆめエネルギー 人へ、地球へ

「ガスパビリオン」

1～2階部分が吹き抜けの3階建ての楕円筒形の施設。3階部分がライブシアターとなり、「炎」をキーワードに来場者との双方向性のあるショーを展開予定。また外壁に木材を多用するほか、屋外緑化などを行い緑あふれる周辺環境との一体感を創り出します。



(社) 日本自動車工業会

テーマ 人・クルマ・地球 ▶ 未来へ。

「ワンダーホイール展・覧・車」

ワンダーホイール 展・覧・車は、50m級の観覧車の半分を包み込んだデザインのパビリオン。キャビンから眺める驚きと夢あふれるプログラムや空からの博覧会会場の展望など、今までに体験したことのない新しい感動を提供します。こうした観覧車を演出装置として使うパビリオンは国際博史上初めての試みです。



催事基本計画

基本理念「愛・地球でつながろう！」

催事プログラムを愛・地球博のテーマ「自然の叡智」とつなげ、愛・地球博に参加するすべての人と心をつなぎ、すべての人が友達になれる催事展開を目指します。

5つの催事構成

公式行事

国内外の方をお迎えして行われる開会式、閉会式などで構成されます。

公式催事

公式参加者によって行われるナショナルデー・スペシャルデーや、47都道府県13政令指定都市によって行われる地方公共団体の日、パビリオン出展者によるパビリオンデーなどで構成されます。

協会企画催事

博覧会協会が愛・地球博のテーマ、コンセプトを実現するために企画する催事です。

「EXPOプロモーションイベント」

「Love The Earth」の合言葉のもと世界中のアーティストが集い、開催前から愛・地球博に対する世界的なムーブメントを創り出すプロモーションイベントです。

「グローバルハーモニー・コンサート」

国内外の一流アーティストによるテーマ発信コンサート。強いメッセージがあり、ムーブメントを作り出せるアーティストを多様なジャンルから起用するイベントです。

「5大陸芸能・芸術交流イベント」

地球大交流を具現化する地球的規模の大交流イベント。各地の文化・風俗・芸能を会場全域を使って来場者も参加しながら展開するイベントです。

「愛・地球メッセージイベント」

「愛・地球」のメッセージのもと開催される大型イベント群。グローバルスケールのフォーラムやシンポジウム、アートイベント、演劇など、多様なジャンルのプログラムで構成されます。

「新文化創造イベント」

愛・地球博のテーマに賛同する世界中のアーティストやクリエイターを集め、彼らのコラボレーションによって新しい可能性を追求するプログラムを実施します。

「185 パフォーマンス・サーキット」

毎日のレギュラーイベントとして「会場まるごと劇場化」を目指す、移動型のパフォーマンスイベントです。グローバル・コモン、グローバル・ループを中心に、来場者も気軽に参加できる構成とします。

協会協力催事

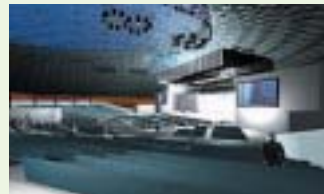
愛・地球博テーマに賛同し参加する各種プログラムのうち、テーマとの連携が高く、質が高い催事について、博覧会協会がその実施に特別な協力をするものです。

一般参加催事

企業、団体、NPO、NGOなどが自主的に企画をたて、愛・地球博の催事場で実施していただくもので、博覧会協会が広く公募をかけ、催事参加者を募ります。

なお、催事参加公募は2003年夏頃から行う予定です。

主な催事施設



大催事場 3,000人収容



小催事場 500人収容

愛・地球広場 10,000人収容

グローバル・コモン広場

第6回国際シンポジウム

昨年12月8日、第6回国際シンポジウム「愛・地球博とメルヘン」が開催されました。これは参加者に、「自然の叡智」について考えながら、想像することやメルヘンの楽しみを知ってもらおうと開かれたもので、当日は抽選で選ばれた250名の親子が参加し、世界各国からの先生と一緒に、絵本や絵コンテなど、想像力豊かに多くのメルヘンを作り上げました。



出演者 オーレ・フィリプソン(BIE名誉議長、愛・地球博国際諮問委員会委員長)
マリ・クリスティーヌ(愛・地球博広報プロデューサー、異文化コミュニケーションター)
講師: ボブ・ハートマン(童話作家)
プロミス・オケウエ(絵本作家、詩人)
アレクサンダー・バーギン(アニメーション作家)
ジョン・ギャスライト(コラムニスト、エコロジスト、ツリークライマー)

愛・地球博協賛レース

愛・地球博を応援しようと、愛知県内の競艇場、競輪場で、「愛・地球博協賛レース」が開催され、これまでに蒲郡競艇(2回)、名古屋競輪(1回)、常滑競艇(1回)で行われました。平成15年度以降は、全国各地で引き続き、「愛・地球博協賛レース」が開催される予定です。なお、協賛レースの売上金、又は収益金の一部は博覧会協会へ拠出されます。

直近の協賛レーススケジュール(確定分)

- ・3月29日(土)～31日(月): 豊橋競輪
- ・4月1日(火)～6日(日): 浜名湖競艇
- ・5月23日(金)～25日(日): 大垣競輪

愛・地球博展示・説明会

博覧会協会は、開幕2年前のタイミングに合わせ、初めての本格的な展示・説明会を、東京を皮切りに、東海4県及び大阪において開催します。この展示・説明会は、愛・地球博のテーマ、コンセプトをはじめ、環境への取り組み、会場計画、各事業概要、アクセス計画など、愛・地球博の「中身」をパネルや模型、映像を通して紹介します。

東京会場 日時: 3月26日(水)～28日(金)
10:00～16:00(28日は15:00終了)
会場: TEPIA(財団法人 機械産業記念事業財団)
(東京都港区北青山2-8-44)
名古屋会場 日時: 4月17日(木)～20日(日)
会場: ナディアパーク(名古屋市中区栄3-18-1)
他会場についてはホームページなどで随時お知らせします。



モリゾー

キッコロ



愛・地球博のパートナーの輪は広がります

4～6月のパートナーシップ事業紹介

(内容は3月7日現在)

会期	イベント名	主催者名	入場料・参加費等	お問い合わせ
02年9月～03年12月	「キダム日本公演」商工会議所会員サービス事業	日本商工会議所・名古屋商工会議所 ・全国各地の商工会議所		(03)3283-7880
4月6日	平成15年六ツ師獅子舞、愛・地球博PR事業	師勝町無形民俗文化財 六ツ師獅子舞保存会		(0568)21-1774
3月1日～8月17日	フラワーウォーク2003	愛知県オレンジエンターリング協会	1グループ500円(小中学生200円)	090-8153-3535
3月15日～11月30日	明治萬国博覧会	博物館明治村		(0568)67-0314
3月16日～6月1日	2003エコカーチャンピオンシップ事業	エコカーチャンピオンシップ 運営委員会		(0532)53-7211
3月21日～5月5日	安城産業文化公園「デンパーク」 スプリングフェス	(財)安城都市農業振興協会 (安城産業文化公園デンパーク)		(0566)92-7110
3月21日～4月6日	とよた・行く見るスタンプラリー2003Part3 おもしろ探検隊!! ～キッコロとモリゾーをさがそうスタンプラリー～	豊田市観光協会		(0565)34-6642
3月25日～7月6日	特別企画展「博覧会と自動車」	トヨタ博物館		(0561)63-5151
4月1日～10日	城山公園さくらまつり	尾張旭まつり実行委員会		(0561)53-2111
4月1日～4月14日	な・ご・や商業フェスタ2003	な・ご・や商業フェスタ実行委員会		(052)223-5737
4月4日～7月6日	第26回名古屋国際音楽祭	中部日本放送		(052)259-1361
4月4日～4月6日	犬山お城まつり	犬山お城まつり実行委員会		(0568)61-1000
4月5日～4月6日	やとみ春まつり	弥富町観光協会、 やとみ春まつり実行委員会		(0567)65-1111
4月6日	第9回 春姫道中	本丸御殿フォーラム		(052)774-6891
4月6日	和太鼓・芸能まつり 響け!!和太鼓2003	尾張旭童太鼓	入場無料	(0561)54-4709
4月6日、13日	第13回名古屋市健康福祉ソフトボール大会	名古屋市ソフトボール協会		(052)551-9546
4月12日～4月13日	メ～テレ春まつり2003	名古屋テレビ放送株式会社		(052)322-7127
4月20日～29日	いなざわ植木まつり	いなざわ植木まつり実行委員会		(0587)32-1111
4月23日～6月22日	メナード美術館所蔵企画展「卓上静物」 特集展示 / 女性の美2「少女」	メナード美術館	一般700円、高大生500円、 小中生300円	(0568)75-5787
4月26日～4月27日	第27回大倉公園つつじまつり	大倉公園つつじまつり推進委員会		(0562)45-6227
4月29日	中日能	中日新聞社	S席 16,000円(15,000円) A席 14,000円(13,000円) B席 12,000円(11,000円)	(052)221-0729
4月29日～5月5日	第20回記念 ナゴヤエキスポまつり	ナゴヤエキスポまつり実行委員会		(052)585-2861
5月3日～4日	第4回美濃・町家あきんど祭り	美濃・町家あきんど祭り実行委員会		(0575)33-2168
5月8日～14日	9.11 祈り 城戸和子油彩展	9.11 祈り 城戸和子油彩展実行委員会	入場無料	(052)505-8858
5月10日	名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 環境研究所 環境フォーラム	名古屋産業大学・名古屋経営短期大学 環境経営研究所	無料	(0561)55-5101
5月10日	御殿の日募集活動	本丸御殿フォーラム		(052)774-6891
5月10日	やろまい!!せと・まるっとエコシティ	名古屋学院大学エクステンションセンター		(0561)42-1096
5月11日	PRE EXPO 骨髄バンクチャリティー 第1回国際女子空手道選手権大会	国際女子空手道選手権大会実行委員会		(058)271-6272
5月14日～5月19日	第28回中日いけばな芸術展	中日いけばな協会	当日券 800円、前売券 600円	052-221-0729
5月17日	2005年日本国際博覧会ロータリー館 建設協賛チャリティーコンサート	国際ロータリー第2760地区2005国際博覧委員会		(052)219-1361
5月24日～5月25日	第15回豊川市民まつり おいでん祭	豊川市民まつり協議会		(0533)89-2126
5月25日	愛・地球博知多半島和太鼓・芸能まつり	愛・地球博和太鼓・芸能まつり委員会	大人900円、大学生以下500円	(052)842-6910
6月2日～7月26日	575ワールド万派句「元氣ッ!へきなん俳句大会」	元氣ッ!へきなん実行委員会、碧南市観光協会	無料	(0566)41-3311
6月3日～7月25日	名古屋国際室内楽フェスティバル2003	名古屋国際室内楽フェスティバル実行委員会		(052)204-1133
6月6日～6月7日	ジャパン・デジタル・アニメーション・ フェスティバル2003	ジャパン・デジタル・アニメーション・ フェスティバル実行委員会		(052)218-1013
6月11日～6月13日	2003・ビジネスウェブ21	社団法人中部経営情報化協会		(052)581-6917
6月20日	全国明るい社会づくりフォーラム2003	特定非営利活動法人 明るい社会づくり運動	1000円	(03)3354-6061
6月25日～8月31日	メナード美術館 所蔵企画「音」展	メナード美術館	一般700円、高大生500円、 小中生300円	(0568)75-5787

[登録に関するお問い合わせ]

行政関係の方は 総務グループ (052) 569-2005 民間企業関係の方は 経営企画室 (052) 569-2162
市民団体関係の方は 市民参加促進グループ (052) 569-2101 環境関係の方は 環境グループ (052) 569-2153

今年の9月25日から前売り券の販売を開始

第1期販売は当日券の約2割引とおトクです

開幕の1年半前にあたる今年9月25日から、いよいよ前売り入場券の販売が開始されます。第1期(2003年9月25日~2004年3月31日)は、当日券の約2割引とおトク。みなさんも是非この機会にお買い求めいただくことをおすすめします。なお、第3期には、期間内に何度でも入場可能な全期間入場券と特別割引入場券も発売します。

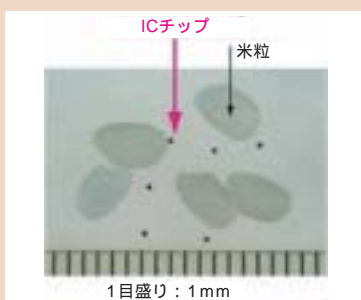
前売り入場券デザイン

モリゾーとキッコロをあしらった楽しさ溢れるデザインです



入場券システムにICチップを導入 国際博覧会では史上初の試みです

0.4mm角の超小型ICチップを入場券に埋め込むことで、入場券一枚一枚に固有のID(認識番号)を付与することが可能になるとともに、入場券を機器にかざすだけで簡単にIDを確認することができます。このICチップを導入することにより、入場券の券種の識別はもちろん、来場者の方への多彩なサービスが可能になります。



料金体系表

券種	料金	適用条件
当日券	大人 4,600円	満18歳~65歳未満に適用
	中人 2,500円	満12歳~18歳未満に適用
	小人 1,500円	満4歳~12歳未満に適用
	シニア 3,700円	満65歳以上に適用
	基本割引率 20%	
前売券1期 (2003年9月25日~2004年3月31日)	大人 3,700円	
	中人 2,000円	
	小人 1,200円	
	シニア 3,000円	
普通入場券	基本割引率 15%	
	前売券2期 (2004年4月1日~2004年9月30日)	
	大人 3,900円	
	中人 2,100円	
	小人 1,300円	
シニア 3,100円		
基本割引率 10%		
前売券3期 (2004年10月1日~2005年3月中旬)	大人 4,100円	
	中人 2,300円	
	小人 1,400円	
	シニア 3,300円	



ケイリン及び
オートレースの売上金は、



の開催のために
活かされています



この広報誌の制作にあたっては日本自転車振興会「競輪公益資金」の補助を受けました。



インターネットホームページアドレス
<http://www.expo2005.or.jp>

「EXPOの耳」Eメールアドレス
voicebox@expo2005.or.jp



この印刷物は、再生紙(古紙含有率100%)を使用しています。